

※A課題は半切横が可能になりました。ご活用ください。

- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か横・角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で氏名も忘れず記入)

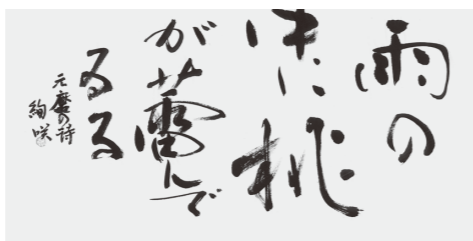
〈B課題の部〉



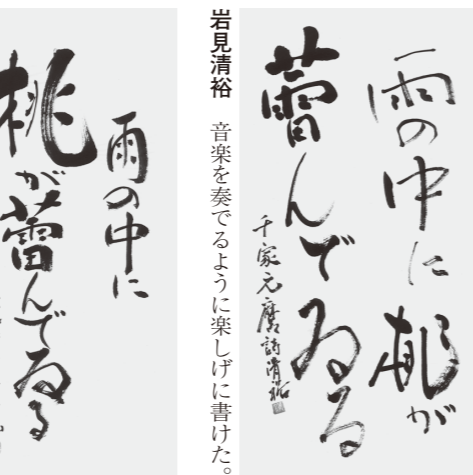
山口紫煙 中央の白場がよく効き明るい作となった。



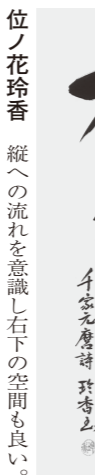
今井清翠 動きある「桃」とかわいいう字形の小書きの微笑ましい作。



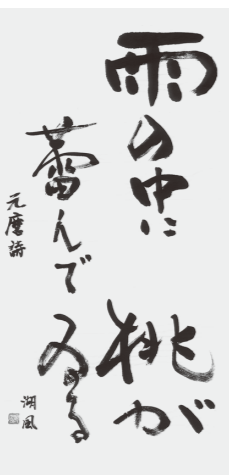
富田絢咲 腕を大きく動かし書いているので紙面が大きく見える。



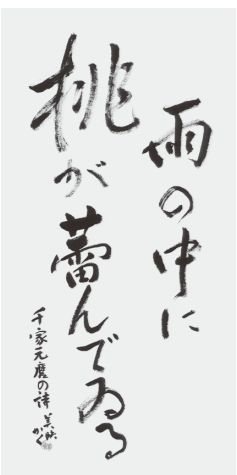
岩見清裕 音楽を奏できるように書けた。



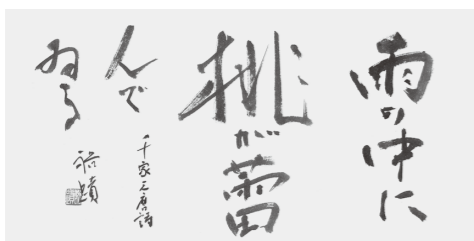
位ノ花玲香 縦への流れを意識し右下の空間も良い。



井上湖風 文字の大小が調和し余白も美しい。



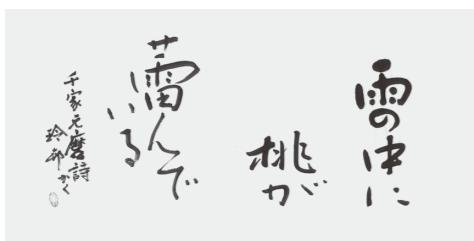
小塩美映 潤濁の変化があり作品が立体的。



山鹿裕蹟 墨色と文字が調和し優しさ溢れる作品。

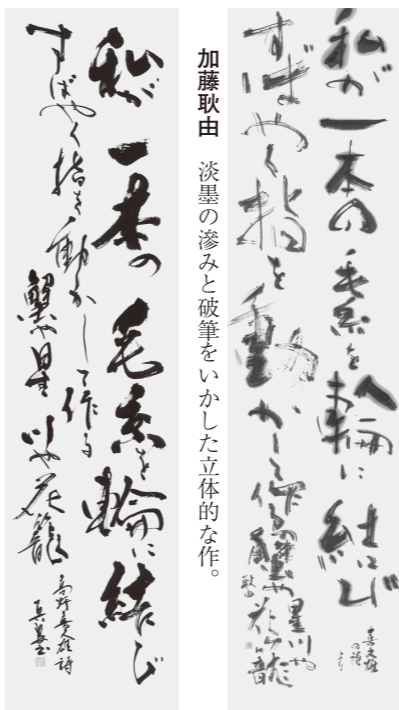


中村華峰 リズムに乗り「蕾」で大胆に魅せる意欲作。

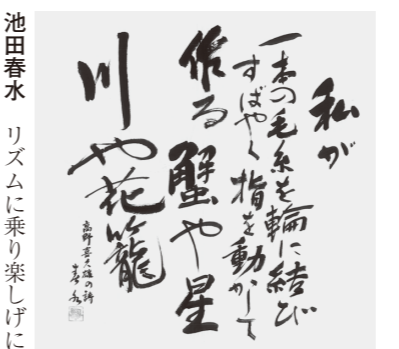


田村玲邨 奇をてらうことなく丁寧でこの句の情景が浮かぶようだ。

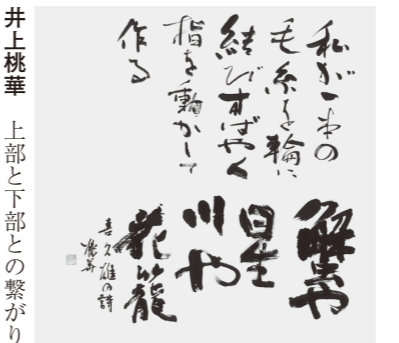
〈A課題の部〉



上田真翠 筆がよく動き太細の変化がありいきいきとした作。



池田春水 リズムに乗り楽しげに書けた。落款も調子を揃えて。



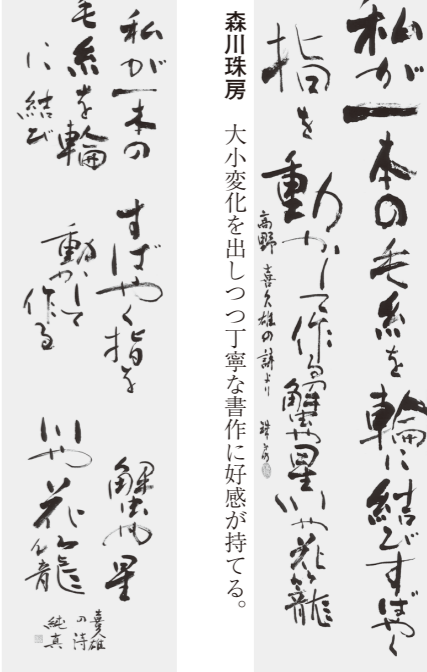
井上桃華 上部と下部との繋がり「作る」の位置を考えて。

優秀作品

- 現代書部 次号課題
- A 貧乏な天使が小鳥に変装する 枝に来てそれはうたふ わざとたのしい唄を すると庭がだまされて
- 小さい薔薇の花をつける (立花道造 詩)
- B 一桶の藍流しけり春の川 (正岡子規 句)

桜の開花が早くなっている昨今ですが、この季節には、茨木のり子さんの「さくら」の詩を思い出します。「ことしも生きてさくらを見ています ひとは生涯に何回ぐらいさくらをみるのかしら……後略」一生のうち桜を見られる回数少なさに人生の儂さと同時に祖先から連綿と自分につながる命の大切さを感じるのです。ぜひこの詩の全文を鑑賞してみてください。

さて、今回 作者名の誤字、押印がない作品や不鮮明な押印が多く残念でした。今一度確認していただき、ご自分の作品を大事に提出ください。



森川珠房 大小変化を出しつつ丁寧な書作に好感が持てる。



吉田純真 3ブロックにわけた穏やかな筆致で明るい作。

上田紫峰 「一本の」の動きに心惹かれた。